

西 彼 保 健 所 感 染 症 情 報

令和7年第 14 週 (3 月 31 日 ~ 4 月 6 日)

トピックス・季節情報

- 現在、西彼地域では注意報や警報レベルの感染症はありません

全数把握対象疾患

※報告日週掲載（県作成速報：診断日週掲載）

一類感染症		報告なし
二類感染症	【第14週】	結核 患者 2名（60代・女性、30代・男性）
三類感染症		報告なし
四類感染症		報告なし
五類感染症	【第14週】	百日咳 患者 1名（10代・女性）

定点把握対象疾患（定点あたりの患者報告数＊）

＊数字は、1医療機関が1週間に診断した患者数を示します。

疾患名	前週	今週	備考	疾患名	前週	今週	備考
インフルエンザ	—	—		流行性耳下腺炎	0.25	—	
COVID-19	3.00	1.00		急性出血性結膜炎	—	—	
RSウイルス感染症	2.00	1.75		流行性角結膜炎	—	—	
咽頭結膜熱（プール熱）	—	0.25		細菌性髄膜炎	—	—	
A群溶血性インフルエンザ菌咽頭炎	2.00	2.50		無菌性髄膜炎	—	—	
感染性胃腸炎	6.25	7.50		マイコプラズマ肺炎	—	—	
水痘（みずぼうそう）	—	0.25		クラミジア肺炎	—	—	
手足口病	—	—		感染性胃腸炎（ロタウイルス）	—	—	
伝染性紅斑（りんご病）	0.25	—		インフルエンザによる入院患者	—	—	
突発性発しん	0.50	—		COVID-19による入院患者	—	—	
ヘルパンギーナ	—	—					

【西彼保健所よりお知らせ】

百日咳に注意しましょう



百日咳菌の感染によって、特有のけいれん性の激しい咳発作を特徴とする急性の気道感染症です。

- 潜伏期間は5～10日間（最大3週間程度）です。
- 経過はカタル期（感冒症状、1～2週間）、痙咳期（乾性咳嗽と発作性の咳、3～6週間）、回復期（6週間以降）の3期に分けられ、排菌はカタル期に多いといわれています。
- 感染経路は鼻咽頭や気道からの分泌物による飛沫感染や、感染者と接触したりすることによる感染（接触感染）とされています。
- 咳エチケットや手指衛生を徹底し、感染拡大防止をはかりましょう。
- 予防には、5種混合ワクチン（DPT-IPV-Hib）等の接種が有効です。
- 接種を行っていない人や接種後年数が経過し、免疫が減衰した人での発病が見られており、いまだ多くの流行が発生しています。

<医療機関の皆様へ> 百日咳は平成30（2018）年1月1日から、5類の全数把握疾患となり、診断した医師すべてに診断後7日以内の届出が義務付けられています。従って医師は、臨床的特徴を有する者を診察した結果、症状や所見から百日咳が疑われ、検査を実施し、百日咳と診断した場合（検査確定例と接触歴のある百日咳の臨床的特徴を有する症例は検査診断不要）は、届出をお願いします。